

(株)SRA ホールディングス代表取締役社長の小熊です。

本日、2026 年 3 月期決算を発表しました。併せて「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」も発表しました。今回の決算発表の要点は以下の通りです。詳細は発表資料をご覧ください。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

[2026 年 3 月期決算]

(1) 2026 年 3 月期(2025 年度)業績 前年同期比

■売上高=増収(5 期連続)

■収 益=粗利益、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてで増益  
(売上高、各利益とも過去最高を更新)

■配当金=年間配当金 200 円(下期配当金 110 円)

※年間配当金 20 円増配

◎売上高:53,279 百万円(前年同期比 3.2%増)

(主な要因)

- ・開発事業(1.1%増):金融業向け等が増加
- ・運用・構築事業(2.3%増):金融業向けおよび製造業向け等が増加
- ・販売事業(6.3%増):(株)AIT で金融業等向けが増加

◎売上総利益:13,743 百万円(同 4.3%増) 売上総利益率:25.8%(前年 25.5%)

(主な要因) 高収益ビジネスへのシフト、生産性向上、単価改善が寄与

◎営業利益:8,244 百万円(同 3.8%増) 営業利益率:15.5%(前年 15.4%)

(主な要因) 粗利益の増加、販管費の効率化

◎経常利益:9,500 百万円(同 16.9%増) 経常利益率:17.8%(前年 15.7%)

(主な要因) 営業利益の増加、為替差益 722 百万円の発生

◎当期純利益:5,601 百万円(同 65.8%増) 当期純利益率:10.5%(前年 6.5%)

(主な要因) 経常利益の増加、貸倒引当金大幅減少

2025 年度の売上は、「開発事業」、「運用・構築事業」、「販売事業」の全てのセグメントで増加し、特に、前年に引き続き「販売事業」が好調に推移した結果、過去最高を更新いたしました。また、利益につきましても、特に「開発事業」において生産性向上や単価改善等が寄与した結果、粗利益、営業利益ともに増益となりました。また、前年度は円高の影響により為替差損を計上していましたが、本年は円安により為替差益が 722 百万円発生したこともあり、経常利益が大幅に増加いたしました。また、前年発生した有価証券評価損が今年は発生せず、貸倒引当金の繰入れが大幅に減少したことから、当期純利益も大幅に増加いたしました。

この結果、売上のみならず、売上総利益、営業利益、経常利益、当期利益のすべてにおいて、「過去最高」を更新することができました。

配当につきましては、昨年中間決算発表時に期末配当金を90円から100円に増額しましたが、売上高、営業利益が概ね予想水準に達したこと、また、経常利益、当期純利益が業績予想値を上回ったこと、加えて、上記の通り、売上、各利益とも「過去最高」を更新したことから、更に10円増額して110円とし、中間配当金90円と合わせ年間配当金を前期比20円増配の200円とすることといたしました。

また、2022年10月18日公表の「配当方針の見直しに関するお知らせ」の通り、為替差損益など実現していない損益等が原因で親会社株式に帰属する当期純利益が変動する場合等においては、その影響を考慮し配当額を決定する、としており、当連結会計年度につきましては、722百万円の為替差益等があったため、配当性向は45.1%となります。

## (2) 2027年3月期(2026年度)予想

### ◎連結業績

売上高 55,500 百万円(前年比+4.2%)  
営業利益 8,600 百万円(前年比+4.4%)  
経常利益 9,000 百万円(前年比△5.3%)  
当期純利益 5,500 百万円(前年比△5.5%)

2027年3月期予想につきましては、売上高 55,500 百万円(前連結会計年度比+4.2%)、営業利益 8,600 百万円(同+4.4%)、経常利益 9,000 百万円(同△5.3%)、親会社株主に帰属する当期純利益 5,500 百万円(同△5.5%)を予想しております。

なお、経常利益および当期純利益につきましては、前年度比減少予想としておりますが、前年度は722百万円の為替差益を計上したのに対し、今年度予想においては、為替差損益の発生を見込んでいないことによるものであり、為替要因を除けば、増益計画となります。

### ◎配当金

「株主還元の更なる充実」を図るべく、従来通り、配当性向 50%を目処に〔安定的な高配当〕を目指す」との方針に基づき、1株当たり年間配当金を、当期に比べ20円増額の220円(内訳は中間配当100円、期末配当120円)とする計画です。この配当を実施した場合の配当性向は50.5%の見込みです。

## [2026年4月月次売上高]

(株)SRA=前年比大幅増加  
(株)AIT=前年比大幅減少  
国内子会社=前年比大幅増加  
海外子会社=前年比増加

<発表資料> [https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index\\_2026.html](https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2026.html)

(株)SRA、国内子会社、海外子会社は前年比増加しております。特に、(株)SRA は前年比20%超、国内子会社は10%超と、順調に滑り出しております。(株)AIT につきましては、前年比24.4億円の減少となっておりますが、これは昨年4月に大手金融機関向けに、過去最大の27億円超の大型販売案件があったことによるものです。今年度も、規模の大きな案件獲得に向け、尽力してまいります。

引き続き、更なる成長を目指すべく、既存業務分野での生産性向上に努めるとともに、AIをはじめとした成長分野や新たなビジネスに積極的に取り組むことで、「ビジネスモデルの変革」を推進し、収益性の向上を目指してまいります。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。